

IV 外部評価における意見への 対応状況

外部評価における意見への対応状況

専 業 名 義 担 当 課	事業のねらい・目的	外部評価時点での事業の状況				評価区分 (今後の方向性)	外部評価における意見	異の対応状況
		事業の内容	指標	目標値	実績値			
				(年度)	(年度)			
次の目標	実績値	指標	目標値	実績値				
(年度)	(年度)	(年度)	(年度)	(年度)				
(1) 福岡県庁知的障がい者就業支援事業 総務部 人事課	<p>・本県の障がいのある人を対象とした採用試験は全ての障がい者別若年者対象となっているが、これまでには知的障がいのある人による公募採用がなかった。この現状を踏まえ、知的障がいのある人に対し「公務員における働く場」を創出する。</p> <p>・県庁に勤務する障がい者がある人と共に働く機会を拡大し、知的障がいのある人と働くことに対する障がいの理解啓発を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークサポートオフィス（県庁内の雇用サポートオフィス）スタッフ、マネージャーの雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がいのある人の任用数（※1年度任用職員） 	<ul style="list-style-type: none"> 4名（R4年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 4名（R4年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 6名（R5年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生を主に「産直型企業へ就職することを前提とされているが、就職できなかった場合はどうするのか考えていただきたい。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の民間就職先等が決まらない場合、本人の意思を確認しながら、外部の支援機関の利用も含めて調整していく。
	(2) 国際金融機構形成促進事業 企業・経済産業部 総合政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・成長を供給するベンチャー・キャピタル等の資源活用 ・創業及び金融の助成など多岐にわたる支援（言語サポート） ・金融の助成など多岐にわたる支援（言語サポート） ・金融の助成など多岐にわたる支援（言語サポート） ・金融の助成など多岐にわたる支援（言語サポート） 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際金融アドバイザー契約の締結 ・国際金融補助助成、FinTech導入補助金 ・投資家と地元企業等のマッチングイベント開催等 	<ul style="list-style-type: none"> ・FinTech企業と地元金融機関とのマッチング（商談開始率） 	<ul style="list-style-type: none"> 70%（R4年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 70%（R5年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅・大企業への就職を促すことと併せて、産直型企業への就職を促すこと ・産直型企業への就職を促すことと併せて、産直型企業への就職を促すこと ・産直型企業への就職を促すことと併せて、産直型企業への就職を促すこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際金融機構形成促進事業という本事業の目的を踏まえ、成果指標を県が関わり誘致した「金融機関等誘致件数」に集約。
(3) 障がい者文化芸術活動推進事業 (障がい者アート作品レンタル事業) 人づくり・県民生活部 文化政策課		<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人が持っている多様な能力・才能に優れた機会を積極的に提供することで、障がいのある人及び障がい者に対する理解と認識を深める。 ・障がいのある人が文化芸術活動を通じて社会参加（作品の制作・発表、収入向上）する機会を確保するとともに、さらなる制作意欲の向上を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者アート作品のレンタル ・市内展示による事業PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等に有料で貸し出された障がい者のアート作品数（年度毎） 	<ul style="list-style-type: none"> 66件（R4年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 102件（R5年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県山間部にある事業者では、企業等とタイアップし、障がい者の方の作品販売等を行うことで、収入向上が期待されている。レンタルだけでなく、販売も行うことが、収入向上につながるのではないか。 ・価値のある作品であれば、NFT等で販売するのはどうか。 ・販売も行うことも、収入向上と作品の価値向上に力点をあわせていきたい。 ・事業の自立、自主をNPJで検討されているのであれば、NPJ側で主体的に事業を検討できるような働きかけなど、事業化に向けて知見を蓄えていくような取組を併せて進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業では、障がいのある制作者の継続的な収入確保を目的としているため、原作品の画像を撮影し、その撮影データを印刷したオリジナル作品を、今後も継続的な収入確保を目的として、レンタルに加え、レンタル以外の作品も提供していきたい。 ・上記の作品画像データ等の販売については、委託事業者であるNPJ法人からとも意向を聴取して検討したものであり、事業の自主性について委託事業者とも連携しながら引き継ぎ取り組んでいく。
	(4) 脱炭素社会推進事業 (中小企業支援) 環境部 環境保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化人材育成、脱炭素情報発信、省エネ相談、中小企業向け省エネ診断、脱炭素化情報発信等による中小企業支援 ・R12(2020)年度までに業務部門(オフィス、商業施設等)の二酸化炭素排出量の60%削減(1/25(2013)年度比)を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネエネルギー推進会議の運営 ・脱炭素化人材育成事業 ・脱炭素化情報発信事業 ・省エネ相談事業 ・中小企業等省エネ設備導入支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務部門のエネルギー消費量 	<ul style="list-style-type: none"> — 	<ul style="list-style-type: none"> 1.00 GJ/m² (R12年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考値として、二酸化炭素排出量の削減率(%)について記載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考値として、二酸化炭素排出量の削減率(%)について記載した。
(5) 農商工連携強化事業 商工部 新事業支援課		<ul style="list-style-type: none"> ・(公) 福岡県中小企業経営センター内に「農商工連携アドバイザー」を配置し、農業者と農林漁業者の連携による商品開発・改良と販路開拓に向けた助言・指導を行う。 ・(地) 地域経済活性化を担う中小企業・小規模事業者の成長と、それによる地域活性化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携アドバイザーによる支援・指導 ・商品力強化・商談マッチング事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規商品開発・改良件数 ・個別商談参加事業件数 	<ul style="list-style-type: none"> 50件（R4年度） 72件（R4年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 50件（R5年度） 50件（R5年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発・改良件数がどのくらいの販売額に結びついていくのかを成果指標として示していただきたい。 ・開発・改良をした商品の中で撤退した商品等はどのくらいあるのか。 ・商品の魅力や改良の理由がどのくらい消費者に届いているのかを成果指標として示していただきたい。 ・商品の魅力や改良の理由がどのくらい消費者に届いているのかを成果指標として示していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発・改良件数がどのくらいの販売額に結びついていくのかを成果指標として示していただきたい。 ・開発・改良をした商品の中で撤退した商品等はどのくらいあるのか。 ・商品の魅力や改良の理由がどのくらい消費者に届いているのかを成果指標として示していただきたい。 ・商品の魅力や改良の理由がどのくらい消費者に届いているのかを成果指標として示していただきたい。

